



たれか

母校

を思わざる

同窓会長 久保村 昭 衛



同窓会の皆様方には
益々ご清祥の事と御慶び
申し上げます。

さて、母校「東京都立
中野工業高等学校」は平
成七年に創立五〇周年を
迎える事になりました。
これも偏に同窓会の方々
のご協力の賜と心より感
謝いたしておる次第でござ
います。

学科改変及び創立五〇
周年等の学校の現状を同
窓会々員の皆様にお知ら

せ申し上げたく、この度同窓会々報を発行する
事に致しました。又、創立五〇周年記念を盛大
にお祝いする為に、「東京都立中野工業高等学
校創立五〇周年記念行事実行委員会」を発足い
たしました。記念行事の一環といたしまして、
まず第一に、創立五〇周年記念誌の編纂を企画
いたし、早速取り掛かることにいたしました。

これにつきましては同窓会の方々のご協力なく
しては全く完成する事は叶いません。そこで委
員会からのお願いでございますが、すばらしい
記念誌とする為に皆様方のお手持ちの思い出深
いお写真とか、昔の会報、又思い出話等を是非
共お寄せ頂けましたら幸せでございます。今の
処興味深い史料は全く皆無に近い状態でありま
すので皆様方の御協力で充実した楽しい記念誌
を作り上げたいと思っております。又拝借させ
て頂きましたものにつきましては大切に使用せ
て頂きましたのち少しでも早めにお返し申し上
げるようにいたします。

同窓会で運営して参りました「清里寮」につ
きましては順調な延びがみられるようになりま

した事は同窓会の皆様方のためまぬ御努力の賜
であり感謝するのみであります。

自然の中でのびやかな一時をすごされ、清
里ならではの「座禅草」をはじめ数多くの植物
の中の散策などで都会の塵も吹っ飛ばされる
事間違いございません。今年も大いに御利用頂
いて、ご家族やご友人との楽しい一時をお過ご
し下さい。

清里寮の運営を行う財団法人「清陵会」の設
立の夢もこの際同時に実現させて参りたいもの
であります。会報の発行等、思うにまかせず遅
れがちで御迷惑をおかけする事もあります、
今後一層努力いたしましてお喜び頂けるような
会報を作成して参りたいと思っております。

同窓生の皆様におかれましても、街角のこぼ
れ話とか又珍しい事に直面なさったとか、何で
も結構でございますので同窓会あて常時お送り
下さいますよう重ねてお願い申し上げます。

女子生徒の制服が変わります



冬 服

夏 服

新生

「総合技術科」への

挑戦

校長 渡邊光男



同窓会の皆様には日頃一方ならぬご協力、ご援助をいただきありがとうございます。

本校は三年後の平成七年に（全日制）創立五〇周年を迎えます。半世紀の永い歴史と伝統、そして八千名に近い卒業生並びに地域の皆様方に支えられて発展をして参りました。

今日、日本は世界に類を見ないほど豊かな国に発展し、人々の価値観は多様化し、高齢化、情報化、国際化等社会の変化は加速度を加えるように進んでいます。学校教育はこれに対応すべく平成六年度から学習指導要領が改定、実施されますが、そのねらいは今までの画一的、硬直した教育を打破し、豊かな心を育み、基礎・基本の重視、個性尊重、自己教育力の育成、国際理解の推進などです。

そして、今、教育界はかつてない大きな変革期を迎えています。明治以来三回目の教育改革

とも言われ、学校週五日制が月一回昨年九月より実施されました。また、普通科と職業科の中間に位置する総合学科が平成六年度より実施されます。

一方、東京都の中学校卒業生は平成元年度約十五万人でしたが、平成五年度十一万二千人、さらに、平成十年度には九万一千人となってまいります。このため都は平成三年度から大幅な学級減や学級定員の見直しを図るなどの措置をいたしました。しかし工業高校の学級減は他科より厳しく、三年間で機械科21学級、電機系10学級、工業化学系9学級の計30学級減が行なわれました。結局本校と同程度の学校が六校廃校になった勘定です。今後は学級減だけでなく統廃合も覚悟せざるを得ないと思っております。

さらに、高校への入学希望は普通科志向が強くなり、特に工業高校への希望者は激減し、今後、定員割れの学校が続出すると思われれます。

このような環境の中で、それぞれの学校では学科の名称変更や類型コースなどの改善を図り既に実施しています。また、特色ある教育内容

や魅力ある学校づくりに努めるとともに、体験入学を実施するなど本校のPRにも力を入れています。さらに工業校長会が主体になって生徒の作品展（平成四年度は都立芸術劇場で職業高校合同の産業フェアを実施）やスポーツ大会などを実施し、広く都民のみなさんに工業高校の良さを理解してもらおうよう努めています。

本校では平成二年度より「本校の将来展望」の検討委員会を発足させ検討を加えてきました。二年余の検討の結果、本校の特色を生かしながら別記のように、今までの三科を廃止し「総合技術科」として一括募集する。そして一年次共通履修、二年次より生徒の主體的な選択により六コースに分れ履修する教育内容として、平成五年度より実施することになりました。

この改善で特筆する内容は二つあります。一つは将来の進路に合わせてコース選択ができる。もう一つは基礎工学科にあります。「工業高校から大学進学はできない」というイメージを払拭したことであります。選択科目を多くし自分の進路に合わせた科目の履修により大学への進路がより可能にしたところがあります。

実際に運営する中で、いろいろな問題が出てくることと思いますが、先生方の英知を結集し課題を解決していき「総合技術科」への転換を成功させなければなりません。

同窓生のご理解と一層のご支援を切にお願いいたします。

学科改編について

教頭 吉村義弘



平成五年四月一日より、新しいタイプの工業高校として発足することになりました。

詳細は図を見ていただくとご理解いただけます。対応できるような一括募集、六コース制の工業高校に生まれ変わることになりました。次に、本校の概要についてお知らせいたします。

募集方法

○ 募集学科 総合技術科

募集人員 二〇〇名(内、推薦で入学する者 四〇名)

一年生は一つの学科(総合技術科)として一括募集する。(全員が総合技術科に入学する。)

○ 一年共通履修

一年次 一年間全員、全部のコースに共通した技術の基礎的な事柄を学びながら、自分の適性を発見することに努める。

○ コースの選択

二年生に進級する際に、自分の希望や適性、保護者の意見、将来への人生設計などを、総合的に判断してコースを自ら選び進級する。

二年次 自ら選んだコースでの学習を通して、将来への進路を明確にさせ、三年次の学習や進路決定の準備をさせる。

三年次 より一層専門知識・技術を修得できるように選択科目などが配置されている。生徒は自らの計画にしたがって学習できる。

○ コースの内容

基礎工学コース(カレッジコース)

このコースでは、工業における基礎的な事柄について学ぶ。さらに上級の学校へ行って学びたい人に対して大学などへの進学指導を行なう。理工系の大学に進学したいと考える者にとっては、大学への推薦入学制度もあり、極めて注目されている。

設計製図コース(マシンデザインコース)

従来の工作機械だけでなく、コンピュータ使ったNC工作機械で加工技術を学んだり、CAD(自動設計製図機)などを利用して機械設計や製図など技術全般について学習する。

電子機械コース(メカトロニクスコース)

毎日使っているビデオとか自動車は、機械(メカニクス)と電子(エレクトロニクス)の両方の技術を使って動いている。メカトロニクスコースでは、これに、コンピュータやロボットを使った最新の技術について学習する。

食品工業生産コース(フードテクノロジーコース)

主に食品の加工、保存など生産や製造の技術について学習するとともに、ジュース、肉、果物の缶詰などの生産実習を行う。

入学から卒業までの流れ



同窓会の皆様との

出会い

P T A 会長 塩澤洋子



ここ数年、世の中の動向がバブルの崩壊で非常に殺伐とした傾向に成りつつあると考えるのは、私だけなのでしようか。

そんな中でも露の藁が芽生える春、この時期になりますとさまざまなものが息吹き、始動しはじめます。子供達は受験や卒業と言う大きな人生体験を経て、新たな進路に旅立ち、お世話になった先生方もご栄転による移動等々、そして私達の P T A も次年度に向かっての計画や役員の出出をと、それぞれの方々がさまざまな形で動き出します。時の流れの早さと申しまじょうか、昨年の五月の総会で会長に就任して以来、困りの多くの皆様方に支えられながら、数多くの行事を消化しつつ一年が終わろうとしていきます。その過程で色々な方々と巡り会い、新たな出会いも数多くありました。同窓会の方達と係わりが出来ましたのもその一つです。前年度の川上会長より同窓会のお話は、よく聞いていましたが、昨年十一月の中工祭に、ご案内状を出しました処、久保村会長をはじめ六、七名の役員の方達が見えて下さり、お話しをする事が出来ました。

P T A では、中工祭で地域との交流を深める為、初めての試みとして、地元の N T T 中野に参加して頂いて校内にテレビ中継をしている最中でしたので、久保村会長にモニターテレビに出演して頂き、子供達の作品や展示物の内容等について、率直にご意見を言っておく事が出来ました。共に学校を思う心が、私に仲間としての意識をもたせて下さった様に感じました。中工祭をきっかけにして、同窓会の皆様に親しみもわき、連絡を取らせて頂く様になり、今年の新春交歓会にも先生方と共に招待に預かりました。又、P T A 行事の東京都教育委員会委託の家庭教育学級全都大会では、本校が発表校に選ばれ「子供達の健やかな成長を願う P T A 活動」のタイトルで発表しました。その際にも、同窓会の方々が応援に駆け付けてくださり、本当に勇気づけられました。

二月二十日の P T A 最後の行事となる研修会には、同窓会の事務局長をしておられる島田さんに、卒業してから現在に至る迄のご苦労話を二時間程度講演して頂く事も出来ました。この様に同窓会の方々との出会いを大切にし、二十一世紀を担う子供達と学校発展の為、P T A 活動をより充実させて行きたいと願っております。平成七年に五十周年を迎える中工は、学校・P T A・同窓会の三者の協力で、どこにも見られない素晴らしい記念行事を行えることと思えます。これからも、益々学校を中心に皆様と共に支えあって、大きな輪になってゆく事を願っております。

素敵な出会いと、ご指導をありがとうございます。

◆新春交歓会開催される◆

去る一月三十一日(日)に恒例の新春交歓会が、同窓会と P T A・O B 会の共催で催された。渡邊校長先生を始め諸先生方にもご参加をいただき、総勢八十名余にて賑やかに、有意義な時間を過ごした。

席上、本年四月からの学科改変、女子生徒の制服変更、創立五〇周年記念行事実行委員会の発足等、学校の現況が話題にのぼった。また、P T A・O B 会が主体となったビンゴゲームがあり、参加者一同が童心に返って楽しめました。同時に 7 M A・20 F A・35 F B のクラス会が開かれました。特に食品科の松沢先生、草開先生を中心に盛り上がりを見せていました。

◆同窓会事務局長母校で講演◆

同窓会の事務局長の島田勝利氏(7 M)が、母校の P T A 研修会の招きで「高校生時代に親友を作ろう」と言う演題にて、二月二十日(土)に講演を行った。因みに、氏はスカイライン、ローレル及びレーシングカー等の設計を担当し、現在はオーテックジャパンの品質本部長としてご活躍中である。

講演は、共感し大きく頷かれるご父兄や、話が脱線し笑いが溢れるなど、時間が過ぎるのも忘れる程、充実した内容で進み、まとめに、「人生には色々な選択枝が有り、その分岐点で前向きなプラス志向で考えてほしい。現在の分岐点は過去の分岐点での選択の結果である。子供が自信を持って選べる事が出来る様、親が子供の良い所を愛情持って、見てやる事が、一番大切である。」と結ばれた。

清里寮御利用

方法のご案内

● 申込方法

1、財団法人 清陵会に申し込む。

TEL ○三―三九九―一六七二三

事務局 和泉産業(株)内 小池

2、現地に直接申し込む。

TEL ○五五―一四八―四四五

管理人 黒田

清陵会とは、清里寮の維持運営を行っている財団法人です。

左記利用規定をご覧いただき大勢の皆様のご利用をお願いいたします。

| 清里寮利用規定 | |
|---|--|
| この施設は 東京都立中野工業高等学校後援会が権利を目的としないで 自主運営していますので 次の規定をまもり ご利用してください | |
| ① 利用料金 | (平成3年4月1日現在) |
| ☆ 宿舎料金 | 1人 1泊(朝食 夕食と朝食) 4,500円 |
| | (大学生以上) 3,500円 |
| | (中・高校生) 2,600円 |
| | (小学生以下) 2,600円 |
| ☆ 幼児 | (3才未満) 食事なし 無料 |
| ☆ 乗船 | 1人 1泊 2,500円 |
| ☆ キャンプ | 1人 (施設利用料) 1,000円 |
| ☆ 暖房費 | (11月～3月) 1人 2,000円 |
| ☆ 特別料理 | (クラブ合宿、クラス会等の催物時に別途申込み) ご了承に合わせますが 約1,000円位になります |
| ☆ 飲み物 | |
| | ビール (630ml) 1本 400円 |
| | ジュース 1加 120円 |
| (飲み物の持ち込みは自由ですが なるべく施設内の物をご利用ください) | |
| ② 利用申込金 (郵便振込み) | 1人 1,000円 |
| (10人以上の団体での申込み時に申し受けます) | |
| ③ キャンセル料 | |
| | 利用日の2日前(前々日) 1人 1,000円 |
| | 利用日の1日前(前日) 半全 |
| | 利用日の当日 全額 |
| ④ その他 | |
| ☆ チェックイン | 午後 2時 |
| ☆ チェックアウト | 午後 10時 |
| (上記時間以外の利用の際は 予め管理人に連絡し 許可をえる事) | |
| ☆ 入居時間 | 午後5時～午後9時 |
| ☆ 朝食 | 午前7時～ |
| ☆ 夕食 | 午後6時～ |
| ☆ 消灯 | (原則として午後10時頃) |
| 7月～8月の盛夏時でも 夜間は気温が15度前後になりますので パジャマなどは長袖のものを 用意して下さい | |

事務局

からの

お知らせ

同窓会事務局長

7 M 島田 勝利



同窓生の皆様、お元気でご活躍の事とお慶び申し上げます。

昭和六十一年六月に行われました母校の創立四〇周年記念同窓会総会以来、皆様のご協力で活動が益々活発になってきており感謝申し上げます。早いもので、三年後の平成七年には五〇周年を迎える事になります。

今年百七十三名の第四十四期卒業生を同窓会に迎え入れ、総勢八千五百余名となりました。会の活動は毎年六月の第一日曜日に行われる代議員(各年次の代表)総会を中心に行っております。

会員名簿の作成、清里寮の維持、会報の発行、学校行事への支援、PTAの皆様との連携、等等幅広く活動しております。

更に同窓生同志の連携を強め、母校の発展のために役立って行きたいと考えております。

同窓生の皆様に、会の活動状況をお知らせし、より多くの方々のご協力を戴ける様、当会報を通じ和を広げたいと存じます。

活動は徐々に盛り上がりはありますが、まだ約三割の方々の住所がつかめていない状態に

あります。クラスの方で消息がおわかりになりましたら是非事務局までご一報下さい。

◆同窓会年会費二、〇〇〇円納入のお願い

日頃より同窓会活動に、深いご理解を賜りありがとうございます。同窓会の活動も年々活発化しており清里寮運営のお手伝い、創立五〇周年記念事業、会員名簿発行の準備等に代議員、役員が動いております。さらに充実した同窓会運営を期するため、会員の皆様に同窓会年会費二、〇〇〇円の納入をお願い致します。毎年多くのご賛同を戴いておりますが、全体からしますとまだまだ少数です。

八千有余名同窓生への通信費、清里寮の維持費、母校行事への支援等々、必要な費用が不足しております。諸般の事情をご賢察の上、同窓生各位におかれましては、同封致しました振込用紙にて「年会費二、〇〇〇円」を納入して下さいますようお願いいたします。

平成五年四月一日 発行
東京都立中野工業高等学校
全日制同窓会 会報

〒一六五 東京都中野区野方三二五―五
TEL ○三―三三八五―七四四五
編集 同窓会総務委員会
発行人 竹井 博